

令和2年度職員採用選考試験（第3回）  
獣医師 専門記述試験（R3.1.24）

＝ 課 題 ＝

○ 越境性動物疾病について

越境性動物疾病には、口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱、牛海綿状脳症および高病原性鳥インフルエンザなどがあります。

国内では、過去、長期間にわたって発生のなかった豚熱、口蹄疫及び高病原性鳥インフルエンザが、近年、発生していますが、これら疾病の世界的規模での流行や発生動向と強く関係があると考えられています。

わが国では、こうした越境性動物疾病の発生を防止するため、家畜伝染病予防法に基づく水際検疫を強化し、疾病の国内への侵入を防止するとともに、国内農場においては、飼養衛生管理基準に基づく、越境性動物疾病の発生防止対策が徹底されています。

このことを踏まえ、次の質問に対し全て回答しなさい。

- 1 越境性動物疾病である口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱及び高病原性鳥インフルエンザのうち一つについて、最近の世界的な発生動向について記載しなさい。
- 2 飼養衛生管理基準は、家畜の伝染性疾病の発生を予防するため、家畜の所有者が最低限遵守しなければならない事項をまとめたもので、この遵守に向けた取組は越境性動物疾病の発生予防だけでなく、農場における生産性の向上にもプラスとして寄与するとともに、消費者への食の安全・安心を確保し、国内畜産物の消費拡大につながる等の効果が考えられます。  
畜産農家における飼養衛生管理基準の遵守の取組により、越境性動物疾病の発生予防以外に期待される効果についてあなたの考えを記述しなさい。